2 東書　書Ⅰ002-901

「書道Ⅰ」検討の観点と内容の特色

項目	観点	特色・具体例
内容の選択・程度	◎学習指導要領の教科の目標を達成するため必要な教材が適切に用意されているか。 ◎基礎的・基本的事項の理解や習得のため適切な配慮がなされているか。	●教材、資料、学習活動全般に、書を愛好する心情を育て、感性を豊かにするための工夫が施されている。基本教材のほかに、豊富に例示された近現代の創作作品や、カラー図版を多用した書道史略年表などにより、生徒の書表現への親しみと意欲を引き出すことができる。また、「漢字の書」「仮名の書」の教材には「人物と時代」項目を設け、国語科や社会科など他教科と関連する内容も掲載している。これらを使うことで、古典教材としての書への興味・関心を喚起し、書の伝統と文化への理解を深めることができる。 ●「漢字の書」「仮名の書」には、「表現の特徴」「評価の要点」、骨書き、釈文、書き下し文、大意、和歌の意味、硬筆による字形と筆順の提示、連綿線の色分けなど、学習の手がかりが豊富に用意されている。これらを活用することで、生徒が進んで学習に取り組み、基礎的・基本的事項を、さまざまな角度から身につけられるように配慮されている。 ●「漢字仮名交じりの書」では「表現の工夫」として具体的な表現方法を解説し、創作の際に目的に合った表現方法を選択できるように構成されている。 ●「篆刻・刻字」では写真を数多く掲載し、落款印の刻し方を丁寧に解説している。 ●重要語句には「書道用語 200」の参照項目を示し、書道の専門用語などが確認できるように構成され、基礎事項を確かめながら学習できるように配慮されている。
組織・配列・分量	◎内容の組織・配列は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 ◎分量は学習指導を有効に進められるように考慮され、精選されているか。 ◎中高の接続に対する配慮がされているか。 ◎弾力的な取り扱いに対する配慮がなされているか。	●「書写から書道へ」として中学校書写の確認から始まり、「漢字の書」「仮名の書」を経て「漢字仮名交じりの書」に至ることで、それぞれの分野を関連させながら学習指導を進められる構成になっている。また、それぞれの分野が適切な系統で組織・配列され、表現と鑑賞の学習が相互に関連を図りながら実現できるようになっている。 ●各分野ともに、書道Ⅰの学習に必要な基本教材が、分量も内容も適切に選定されている。 ●冒頭に「書写で学んできたこと」という教材を設けることで、中学校書写で学習したことを復習してから高校書道の内容に入れるように配慮している。楷書や行書の基本だけではなく、行間・字間・余白など配列の基本も簡潔で具体的にまとめられているので、中学校書写の学習内容が確認しやすい。 ●「漢字の書」や「仮名の書」では、基本教材に加えて参考教材が用意されている。
表記・表現及び指導に対する工夫や配慮	◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ◎生徒の自学自習への配慮や工夫がなされているか。 ◎観点別評価への工夫や配慮がなされているか。 ◎指導書や周辺教材での工夫や配慮がなされているか。	●判型を生かして写真や図版を大きく鮮明に見せるなど、学習意欲を高める工夫が随所に施されている。 ●用語や記号の使い方、および記述のしかたが適切である。巻末には、6ページにわたって、「書道用語」を五十音順に 200 語並べて解説した資料を用意し、学習の際の手がかりとしている。 ●「漢字の書」「仮名の書」の「概要」から「評価の要点」までの学習の流れが明示され、「表現の特徴」では、書風を簡潔な表現で言語化し、臨書のための骨書きや注意点なども掲載されているので、生徒が自学自習するのに適している。 ●「漢字の書」「仮名の書」では「表現の特徴」に古典作品の特徴が整理されているので、観点別評価に対応した指導をしやすく、客観的な評価ができるように配慮されている。 ●教科書に掲載された QR コードを使いインターネットで運筆動画の視聴や参考資料の確認ができるので、授業や自学自習の際に学習を深めることができる。 ●指導資料には、教科書紙面 PDF が付属しているので、授業の際などに活用することができる。また、D マイスター®（指導者用デジタルコンテ

この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行社行動規範」に則っております。

		ンツ集）には、指導の際に活用できる動画やワークシート、練習用紙などが豊富に収録されており、生徒の知識・理解の定着度を確認するのに有効である。
印刷・造本上の配慮	◎印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 ◎環境保全や生徒の多様な特性に配慮がなされているか。	●活字は鮮明で美しく落ち着いた印象を与える。教科書が A4 判という大きなサイズなので、写真・図版も大きく鮮明である。また、PUR 製本のため本の開きがよく耐久性もあり、リサイクルにも適している。 ●「漢字の書」や「仮名の書」の基本教材では紙面の配置に統一感があり、学習の流れが理解しやすく、かつ指導者の指示がしやすいように配慮されている。 ●植物油インキを使用したり、グリーンプリンティング認定工場で印刷したりするなど、環境に配慮している。 ●カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。
総合所見	◎上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴	●基本教材の臨書の充実、多様な学習の手がかり、豊富なデジタルコンテンツなどにより、より多くの生徒の学習意欲を引き出し、学習環境が変わっても生徒が望む学びに効果的に対応できる教科書である。

2 東書　書Ⅱ002-901

「書道Ⅱ」検討の観点と内容の特色

項目	観点	特色・具体例
内容の選択・程度	◎学習指導要領の教科の目標を達成するため必要な教材が適切に用意されているか。 ◎基礎的・基本的事項の理解や習得のため適切な配慮がなされているか。	●書道Ⅰの学習を受けて、鑑賞力を高め、創造力を伸ばす教材が多く用意されている。時代や書風など、多様な観点から精選された書を教材として取り上げているので、感性を豊かにし表現力を高めることができる。また、「鑑賞」教材などで近現代の書家の作品に触れることができ、書に関する関心を高め、生涯にわたり書を愛好する心情を育てられるよう、配慮されている。 ●「漢字の書」「仮名の書」の概要解説やコラムを活用することで、国語科や社会科など他教科との関連を図ることができるとともに、書への興味・関心を喚起し、書の伝統と文化への理解を深めることもできる。 ●「漢字の書」「仮名の書」には、書道Ⅰと同様に「表現の特徴」「評価の要点」、骨書き、釈文、書き下し文、大意、和歌の意味、硬筆による字形と筆順の提示、連綿線の色分けなど、学習の手がかりが豊富に用意されている。これらを活用することで、生徒が進んで学習に取り組み、基礎的・基本的事項を、さまざまな角度から身につけられるように配慮されている。 ●「漢字仮名交じりの書」では「古典を生かした表現」や「自分の意図に応じた表現」「言葉と書の調和」など具体的な表現方法を例示して解説し、創作の参考にできるように構成されている。 ●「篆刻」の学習や創作では、印の歴史と用法や落款印の布字、生活の中の印などを詳しく解説し、「刻字」の創作では生徒に身近な表札を題材として取り上げることで、篆刻や刻字の文化を理解できるように構成されている。
組織・配列・分量	◎内容の組織・配列は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 ◎分量は学習指導を有効に進められるように考慮され、精選されているか。 ◎弾力的な取り扱いに対する配慮がなされているか。	●「漢字の書」「仮名の書」を経て「漢字仮名交じりの書」に至ることで、それぞれの分野を関連させながら学習指導を進められる構成になっている。また、それぞれの分野が適切な系統で組織・配列され、表現と鑑賞の学習が相互に関連を図りながら実現できるようになっている。 ●「篆刻・刻字」は「漢字の書」の篆書教材の後に配置し、学習がスムーズに理解できるようになっている。 ●各分野ともに、多様な教材が配置されているので、生徒の実態や興味関心により臨書や鑑賞の教材として取捨選択して学習できるように配慮されている。そのため、鑑賞と表現の両面において、不足なく深く学習することができる。
表記・表現及び指導に対する工夫や配慮	◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ◎生徒の自学自習への配慮や工夫がなされているか。 ◎観点別評価への工夫や配慮がなされているか。 ◎指導書や周辺教材での工夫や配慮がなされているか。	●判型を生かして写真や図版を大きく鮮明に見せるなど、学習意欲を高める工夫が随所に施されている。 ●用語や記号の使い方、および記述のしかたが適切である。 ●「漢字の書」「仮名の書」の「概要」から「評価の要点」までの学習の流れが明示され、「表現の特徴」では、書風を簡潔な表現で言語化し、臨書のための骨書きや注意点なども掲載されているので、生徒が自学自習するのに適している。 ●「漢字の書」「仮名の書」では「表現の特徴」に古典作品の特徴が整理されているので、観点別評価に対応した指導をしやすく、客観的な評価ができるように配慮されている。 ●教科書に掲載された QR コードを使いインターネットで運筆動画の視聴や参考資料の確認ができるので、授業や自学自習の際に学習を深めることができる。 ●指導資料には、教科書紙面 PDF が付属しているので、授業の際などに活用することができる。また、D マイスター®（指導者用デジタルコンテンツ集）には、指導の際に活用できる動画やワークシート、練習用紙などが豊富に収録されており、生徒の知識・理解の定着度を確認するのに有効である。

この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行社行動規範」に則っております。

印刷・造本上の配慮	◎印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 ◎環境保全や生徒の多様な特性に配慮がなされているか。	●活字は鮮明で美しく落ち着いた印象を与える。教科書がA4判という大きなサイズなので、写真・図版も大きく鮮明である。また、PUR製本のため本の開きがよく耐久性もあり、リサイクルにも適している。 ●「漢字の書」や「仮名の書」の基本教材では紙面の配置に統一感があり、学習の流れが理解しやすく、かつ指導者の指示がしやすいように配慮されている。 ●植物油インキを使用したり、グリーンプリンティング認定工場で印刷したりするなど、環境に配慮している。 ●カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。
総合所見	◎上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴	●書道Ⅰからの学習を広げられる基本教材の臨書の充実、多様な学習の手がかり、豊富なデジタルコンテンツなどにより、より多くの生徒の学習意欲を引き出し、学習環境が変わっても生徒が望む学びに効果的に対応できる教科書である。

2 東書　書Ⅲ701

「書道Ⅲ」検討の観点と内容の特色

項目	観点	特色・具体例
内容の選択・程度	◎学習指導要領の教科の目標を達成するため必要な教材が適切に用意されているか。 ◎基礎的・基本的事項の理解や習得のため適切な配慮がなされているか。	●書道 Ⅰ・Ⅱの学習を受けて、さらに鑑賞力を高め、創造的に表現するための技能を身につけられる教材が多く用意されている。時代や書風など、多様な観点から精選された書を教材としているので、感性を豊かにし表現力を高めることができる。また、「鑑賞」教材などでは古典を生かした近現代の書家の作品に触れることができ、書に関する関心を高め、生涯にわたり書を愛好する心情を育てられるよう、配慮されている。 ●「漢字の書」「仮名の書」の概要解説やコラムを活用することで、国語科や社会科など他教科との関連を図ることができるとともに、書への興味・関心を喚起し、書の伝統と文化への理解を深められる。 ●「漢字の書」「仮名の書」には、書道Ⅰ・Ⅱと同様に「評価の要点」、「作品の概要」、釈文、和歌の意味など、学習の手がかりが豊富に用意されている。これらを活用することで、生徒が進んで学習に取り組み、基礎的・基本的事項を、さまざまな角度から身につけられるように配慮されている。 ●「漢字仮名交じりの書」では創作を中心とし、自己の求める表現をするために、言葉に合わせた表現や、表装形式の工夫などを紹介し、個性を生かした創造的な作品制作の参考とできるように構成されている。 ●「篆刻」では、印の用途や側款の刻し方、落款の書き方などが詳しく解説されているので、篆刻の知識を深めるとともに篆刻以外の書作品にも生かすことができる。
組織・配列・分量	◎内容の組織・配列は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 ◎分量は学習指導を有効に進められるように考慮され、精選されているか。 ◎弾力的な取り扱いに対する配慮がなされているか。	●「漢字の書」は書体別に系統的に整理されていて、「仮名の書」は、臨書や鑑賞用の教材から創作へと、段階的に学習が進められるように構成されている。「漢字仮名交じりの書」では、書道Ⅰ・Ⅱで学習したことの集大成として、自己の意図に基づいた創造的で個性豊かな作品制作を実現するために、用具・用材や書風、線質や全体の構成などの工夫についての学習が網羅されている。 ●領域、分野別に選択できる書道Ⅲの特性に合わせて、紹介されている古典は多岐にわたっているが、教材の扱いに軽重がつけられ、効果的に学習が進められるように配慮されている。
表記・表現及び指導に対する工夫や配慮	◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ◎生徒の自学自習への配慮や工夫がなされているか。 ◎観点別評価への工夫や配慮がなされているか。 ◎指導書や周辺教材での工夫や配慮がなされているか。	●判型を生かして写真や図版を大きく鮮明に見せるなど、学習意欲を高めるための配慮が随所に施されている。 ●国語科や社会科など他教科とも深く関係するコラムが掲載されており、生涯にわたって書に親しむための基礎知識を得ることができる。 ●用語や記号の使い方、および記述のしかたが、書道ⅠからⅢまで統一されていて適切である。 ●「漢字の書」「仮名の書」では「表現の特徴」に古典作品の特徴が整理されているので、観点別評価に対応した指導をしやすく、客観的な評価ができるように配慮されている。 ●教科書に掲載された QR コードを使いインターネットで釈文・書き下し文・大意をまとめた PDF や、中国・日本書道史に掲載されている項目の解説 PDF などを見ることができるので、授業や自学自習の際に参考にすることができる。
印刷・造本上の配慮	◎印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 ◎環境保全や生徒の多様な特性に配慮がなされ	●活字は鮮明で美しく落ち着いた印象を与える。教科書が A4 判という大きなサイズなので、写真・図版も大きく鮮明である。また、PUR 製本のため本の開きがよく耐久性もあり、リサイクルにも適している。 ●「漢字の書」や「仮名の書」の基本教材では紙面の配置に統一感があり、学習の流れが理解しやすく、かつ指導者の指示がしやすいように配

	ているか。	慮されている。 ●植物油インキを使用したり、グリーンプリンティング認定工場で印刷したりするなど、環境に配慮している。 ●カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。
総合所見	◎上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴	●書道Ⅰ～Ⅲの学習の集大成としての基本教材や応用教材の充実、多様な学習の手がかり、古典作品の理解を深められるデジタルコンテンツなどにより、より多くの生徒の学習意欲を引き出し、学習環境が変わっても生徒が望む学びに効果的に対応できる教科書である。